

令和 8 年 5 月 1 2 日

教 育 総 務 課

令和 8 年度世田谷区教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価の進捗状況について

令和 8 年度世田谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の実施方針（令和 8 年 2 月 9 日世田谷区教育委員会決定）に基づ
く進捗状況について、下記のとおり報告する。

- 1 令和 8 年度「点検・評価の報告書」の構成について
 - （1）点検・評価の実施方針
 - （2）点検・評価をする項目（取組み項目の 20 項目）
 - （3）学識経験者からの意見

- 2 点検・評価をする項目（取組み項目の 20 項目）について
2 ページのとおり

- 3 点検評価シートの内容について
10 ページから 13 ページのとおり

- 4 世田谷区教育委員会での点検・評価スケジュールについて
2 ページのとおり

世田谷区教育振興基本計画の取組み項目

基本方針	取組み項目	日程
1 新しい知を創造する	1-1 乳幼児教育・保育の充実 1-2 知を創造する学びの推進 1-3 社会の担い手の育成 1-4 新たな学びの場の確保 (多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり) 1-5 教育環境の整備 1-6 子どもの安全・安心の確保 1-7 学校への支援と働き方改革	5月26日 (第10回)
2 地球の一員として行動する	2-1 グローバル人材の育成・国際理解教育の推進 2-2 持続可能な開発のための教育(E S D)の推進 2-3 社会の担い手の育成(再掲) ※再掲分については、1-3で点検評価を実施する	6月9日 (第11回)
3 多様性を受け入れ自分らしく生きる	3-1 インクルーシブ教育の推進 3-2 特別支援教育の充実 3-3 不登校支援の充実 3-4 いじめ防止等の総合的な推進 3-5 健やかな心身の育成 3-6 人権教育・道徳教育の充実	6月23日 (第12回)
4 共に学び成長し続ける	4-1 家庭・地域との学びの連携 4-2 地域で支える教育活動の推進 4-3 生涯学習・社会教育の充実 4-4 地域の教育力の活用 4-5 地域社会との協働	6月9日 (第11回)

【別紙】

令和 8 年度世田谷区教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書
(構成案)

目 次

第1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

1. はじめに
2. 点検・評価の実施方針
 - 2-1 趣旨
 - 2-2 実施方法
 - 2-3 学識経験者
 - 2-4 スケジュール
 - 2-5 マネジメント・サイクル

第2 点検・評価の対象項目及び結果

1. 点検・評価をする取組み項目（20項目）

取組み項目 1-1	乳幼児教育・保育の充実
取組み項目 1-2	知を創造する学びの推進
取組み項目 1-3	社会の担い手の育成
取組み項目 1-4	新たな学びの場の確保（多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり）
取組み項目 1-5	教育環境の整備
取組み項目 1-6	子どもの安全・安心の確保
取組み項目 1-7	学校への支援と働き方改革
取組み項目 2-1	グローバル人材の育成・国際理解教育の推進
取組み項目 2-2	持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
取組み項目 3-1	インクルーシブ教育の推進
取組み項目 3-2	特別支援教育の充実
取組み項目 3-3	不登校支援の充実
取組み項目 3-4	いじめ防止等の総合的な推進
取組み項目 3-5	健やかな心身の育成
取組み項目 3-6	人権教育・道徳教育の充実
取組み項目 4-1	家庭・地域との学びの連携
取組み項目 4-2	地域で支える教育活動の推進
取組み項目 4-3	生涯学習・社会教育の充実
取組み項目 4-4	地域の教育力の活用
取組み項目 4-5	地域社会との協働

2. 点検及び評価に関する学識経験者からの意見

第1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

1. はじめに

平成19年6月に公布された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」）の一部改正において、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(地教行法第26条)」が規定された。

この規定により、平成20年4月1日から、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会自らが点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられている。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするものとされた。

世田谷区教育委員会では、令和8年 第3回世田谷区教育委員会定例会（令和8年2月9日）において、「令和8年度世田谷区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施方針」を議決した。この方針に従って、世田谷区教育振興基本計画の取組み項目について点検及び評価を行い、報告書として、「世田谷区教育振興基本計画 令和7年度の取組みの状況と今後の方向性」を作成した。

この結果を踏まえ、世田谷区教育振興基本計画の教育目標である「幸せな未来をデザインし、創造するせたがやの教育」を実現させるために、教育環境を整えるとともに、行動計画（実施計画）を着実に推進する。

2. 点検・評価の実施方針

2-1 趣旨

- (1) 地教行法第26条に基づき、毎年、主な施策や事務事業の取組み状況の点検及び評価を行い、進捗状況や課題、今後の取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- (2) 点検及び評価の結果については、報告書を作成し、これを世田谷区議会に提出するとともに、区民等へ公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図る。

2-2 実施方法

- (1) 世田谷区教育振興基本計画の20の取組み項目を対象とし、年1回実施する。
- (2) 令和7年度の「取組み項目」の進捗状況を踏まえ、課題や今後の取組みの方向性を示すものとする。
- (3) 点検及び評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取するとともに、学校等の意見の反映に努める。
- (4) 点検及び評価の結果については、報告書を作成し、世田谷区議会へ提出するとともに、ホームページ等で公表する。

2-3 学識経験者

- (1) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検及び評価に関する有識者」を委嘱する。
- (2) 「点検及び評価に関する有識者」の任期は、令和8年2月27日～令和8年9月30日とする。

令和8年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価にあたり、
教育に関し学識経験を有する者（敬称略。五十音順）

●日本体育大学 スポーツ文化学部スポーツ国際学科 教授

岡出 美則（おかで よしのり）

●国立教育政策研究所 名誉所員

小松 郁夫（こまつ いくお）

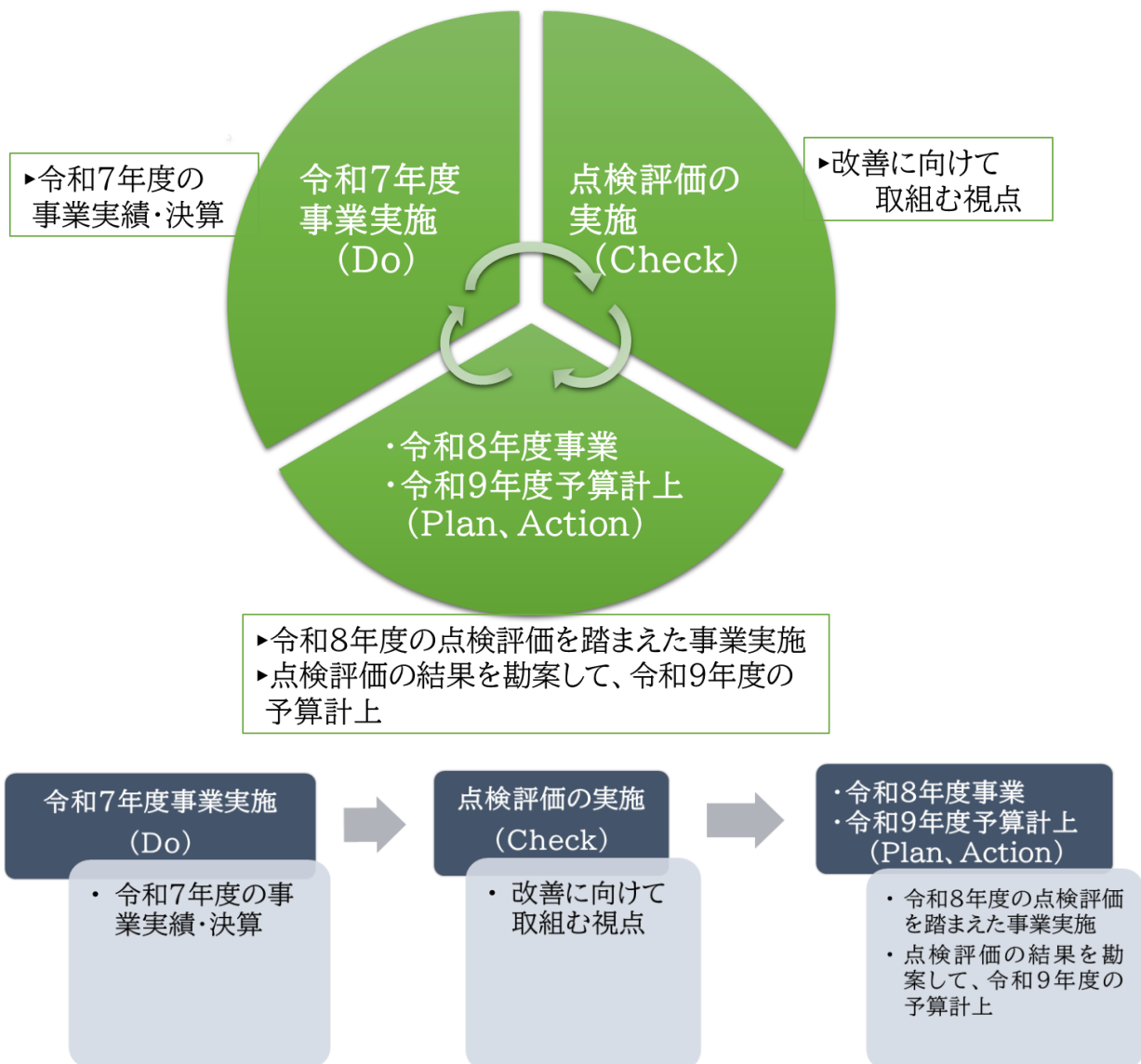
●国士舘大学 文学部教育学科 教授

村上 純一（むらかみ じゅんいち）

2-4 スケジュール

令和8年3月	令和8年5月～6月	令和8年6月～7月	令和8年9月
<ul style="list-style-type: none"> 取組み項目の進捗状況等の取りまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 点検評価の実施 学校等から意見聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 点検評価の実施 学識経験を有する者からの意見聴取 報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 区議会へ報告 区民へ公表

2-5 マネジメント・サイクル



第2 点検・評価の対象項目及び結果

1. 点検・評価をする取組み項目（20項目）

世田谷区教育振興基本計画の「取組み項目（20項目）」について、各施策の進捗状況を踏まえ、成果を検証したうえで評価を行い、課題や今後の方向性を整理した。

基本方針	取組み項目	施策名
1 新しい知を創造する	1. 乳幼児教育・保育の充実	① 乳幼児教育支援センター機能の充実
		② 区立幼稚園の集約化及び機能充実
		③ 保育者等の資質及び専門性の向上
		④ 幼稚園・保育所（施設）・認定こども園・小学校の連携
		⑤ 「学び舎」による学校運営の推進
	2. 知を創造する学びの推進	① キャリア・未来デザイン教育の推進★
		② 教育DXの更なる推進★
		③ 「学び舎」による学校運営の推進（再掲）
		④ 個に応じた学習支援
		⑤ STEAM教育の充実★
		⑥ 読書力の向上
		⑦ 教員研修の充実
	3. 社会の担い手の育成	① 社会とかがわる体験活動の推進
		② 主権者教育の推進
	4. 新たな学びの場の確保（多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり）	① 新たな特例校の開設・運営★
		② 「学び舎」と「地域運営学校（コミュニティ・スクール）」の機能を生かした学びの活性化★
		③ 魅力ある学校・園づくりモデル校による実践研究★
		④ まちの学びの拠点・プラットフォームの構築
		⑤ 新たな学びの場の環境整備★
	5. 教育環境の整備	① 円滑な学校改築の推進
		② 安全・安心の学校施設の改修・整備
③ 学校の適正規模化への対応、小学校35人学級に対応した教室の確保		
④ 環境に配慮した学校づくり		
⑤ 学校給食施設の整備		
⑥ 「小学校プール施設のあり方」を踏まえた学校施設整備の推進		
⑦ 新BOP事業の充実		
6. 子どもの安全・安心の確保	① 園児・児童・生徒の安全確保	
	② 防災・安全教育の推進	
	③ 地域と連携した児童・生徒の安全対策の推進	
7. 学校への支援と働き方改革	① 学校への支援体制の強化★	
	② 教育DXの更なる推進★（再掲）	
	③ 中学校部活動の地域移行の推進	
	④ 中学校部活動の地域連携の強化	
2 地球の一員として行動する	1. グローバル人材の育成・国際理解教育の推進	① 英語教育の推進
		② 国際理解教育の推進
		③ 日本語支援及び生活基盤の充実
		④ 教科「日本語」の取組み
	2. 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進	① 環境・エネルギー教育の推進
		② キャリア・未来デザイン教育の推進★（再掲）
		③ 防災・安全教育の推進（再掲）
		④ 地域と連携した児童・生徒の安全対策の推進（再掲）
	3. 社会の担い手の育成（再掲）	① 社会とかがわる体験活動の推進（再掲）
② 主権者教育の推進（再掲）		

基本方針	取組み項目	施策名
3 多様性を受け入れ自分らしく生きる	1. インクルーシブ教育の推進	① インクルーシブ教育の推進★
	2. 特別支援教育の充実	① 特別支援教育の充実★
		② 特別支援学級等の整備・充実★
	3. 不登校支援の充実	① 総合的な相談体制の充実★
		② ほっとスクール（教育支援センター）の拡充
		③ ほっとルーム設置校の拡大★
		④ オンライン支援事業の充実
		⑤ 学びの多様化学校分教室の運営★
		⑥ 新たな特例校の開設・運営★（再掲）
	4. いじめ防止等の総合的な推進	① いじめ防止プログラム及びいじめを予防するための授業の工夫
		② 児童・生徒の学級満足度及び学校生活意欲等に関する調査と教員のいじめ防止等に関する意識・指導力の向上
		③ いじめ防止等対策連絡会及びいじめ問題対策専門委員会の取組み
		④ 教育支援チームによる対応の強化
		⑤ 人権教育の推進（再掲）
		⑥ 道徳教育の推進（再掲）
	5. 健やかな心身の育成	① 心と体の健康づくり
		② 食育の推進
		③ 児童・生徒が体験・体感する機会の確保
		④ 新・才能の芽を育てる体験学習の充実
	6. 人権教育・道徳教育の充実	① 人権教育の推進
		② 道徳教育の推進
		③ 社会とかかわる体験活動の推進（再掲）
		④ 主権者教育の推進（再掲）
	4 共に学び成長し続ける	1. 家庭・地域との学びの連携
② 家庭の教育力向上のための支援		
2. 地域で支える教育活動の推進		① 学校と地域が連携する取組みへの支援
		② PTA連合体への支援
		③ 各種団体への支援の充実
		④ 区立学校の魅力アップ
		⑤ 学校評価システムの改善・充実
3. 生涯学習・社会教育の充実		① 知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実★
		② 地域での生涯学習事業の推進★
		③ 郷土を知り次世代へ継承する取組み★
		④ 社会教育の充実★
		⑤ 青少年教育の推進
		⑥ 福祉教育の推進
4. 地域の教育力の活用		① 高校・大学・企業等との連携の推進★
		② 中学校部活動の地域移行の推進（再掲）
		③ 中学校部活動の地域連携の強化（再掲）
		④ 新・才能の芽を育てる体験学習の充実（再掲）
5. 地域社会との協働		① 総合型地域スポーツ・文化クラブによるスポーツ・文化活動の促進

★は、世田谷区基本計画等を踏まえ、計画期間である5年間で重点的に取組む施策

取組み項目 1 - 1 乳幼児教育・保育の充実

No.1(取組み項目1-1)	乳幼児教育・保育の充実
所管課	乳幼児教育・保育支援課、教育指導課
現状と課題	<p>近年、人間の創造性や感性、粘り強くやり抜く力など非認知的能力がこれからの社会を生き抜く力として重要視されるとともに、年少人口の減少や、保育待機児の解消、区立幼稚園の入園者数の大幅な減少など、区の乳幼児期の教育・保育を巡る状況は大きく変化しています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、区の乳幼児期の教育・保育の推進拠点として、乳幼児教育支援センターを設置しました。</p> <p>今後は、乳幼児教育支援センターと公私立幼稚園・保育所等や区立小・中学校が連携・協力して、子どもたちがこれからの社会を生き抜く力の基礎を培うことのできる環境づくりに取り組み、区全体の乳幼児期の教育・保育の質の向上を図ることが必要とされています。</p> <p>【教育振興基本計画の「現状と課題」より転記】</p>

< 各施策の進捗状況(5年間の取組み内容及び令和7年度の実績) >

1-1-①乳幼児教育支援センター機能の充実		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
モデル研究	取組み内容	実施 研究成果の共有化に向けた検討	実施 研究成果の発表及び共有化に向けた検討・取組み	実施 研究成果の共有化に向けた検討	実施 研究成果の発表及び共有化に向けた検討・取組み	実施 研究成果の共有化に向けた検討	
	実績	3園と3学び舎(2校・3園)で実施	※実績を記載				
	令和7年度の成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。					
	課題と今後の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。					
	令和7年度決算額				令和8年度予算額		
文化・芸術体験事業	取組み内容	実施 実施内容・手法の検討	検討結果を踏まえた取組みの実施	実施 実施内容・連携のあり方等についての検討	検討結果を踏まえた取組みの実施	実施	
	実績	4事業を実施	※実績を記載				
	令和7年度の成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。					
	課題と今後の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。					
	令和7年度決算額				令和8年度予算額		

1-1-②区立幼稚園の集約化及び機能充実						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
区立幼稚園 の集約化	取組み 内容	集約化に向けた 検討・準備	桜丘・松丘幼稚園 集約化に向けた 調整・準備	桜丘・松丘幼稚園集 約化 中町・三島幼稚園集 約化に向けた調整・ 準備	中町・三島幼稚園集約 化 八幡山・給田幼稚園集 約化に向けた調整・準 備	八幡山・給田幼稚園 集約化
	実績	検討・準備の実施	※実績を記載			
	令和7年度の 成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後 の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度 決算額				令和8年度予算額	
3年保育の 導入	取組み 内容	3年保育導入検 討・準備	多間幼稚園 3年保育先行導 入	桜丘・松丘集約園 3年保育導入	中町・三島集約園 3年保育導入	八幡山・給田集約園 3年保育導入
	実績	3歳児プレ保育の実 施 3年保育カリキュラ ムの策定	※実績を記載			
	令和7年度の 成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後 の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度 決算額				令和8年度予算額	
1-1-③保育者等の資質及び専門性の向上						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
保育者等研 修	取組み 内容	申込者総数 1,430名	申込者総数 1,500名	申込者総数 1,580名	申込者総数 1,660名	申込者総数 1,740名
	実績	申込者総数 2,973名	※実績を記載			
	令和7年度の 成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後 の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度 決算額				令和8年度予算額	
専門人材の 派遣	取組み 内容	派遣施設数 20園	派遣施設数 20園 実施内容・手法の 検討	検討結果を踏まえ た取組みの実施	実施 事業の持続・充実に 向けた検討	実施 事業の持続・充実に 向けた検討
	実績	派遣施設数 24園	※実績を記載			
	令和7年度の 成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後 の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度 決算額				令和8年度予算額	

1-1-④幼稚園・保育所(施設)・認定こども園・小学校の連携						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
幼・保・小・中の連携の促進	取組み内容	学び舎参加施設数 209 施設	学び舎参加施設数 276 施設	学び舎参加施設数 343 施設	学び舎参加施設数 410 施設	学び舎参加施設数 476 施設
	実績	学び舎参加施設数 278施設	※実績を記載			
	令和7年度の成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度決算額			令和8年度予算額		
アプローチ・スタートカリキュラムの推進	取組み内容	カリキュラム改訂に向けた検討・試行	カリキュラム改訂に向けた検討・試行	カリキュラム改訂	改訂版カリキュラムの共有化	改訂版カリキュラムの共有化
	実績	アプローチ・スタートカリキュラム推進及び改訂委員会開催	※実績を記載			
	令和7年度の成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度決算額			令和8年度予算額		
1-1-⑤「学び舎」による学校運営の推進						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
保・幼・小・中の連携の推進	取組み内容	学び舎の在り方検討	学び舎の教育目標等の設定・取組内容の共通理解	学び舎合同での学校運営委員会の実施・確認	実施	実施
	実績	アンケート1回 連絡会1回	※実績を記載			
	令和7年度の成果	※令和7年度の取組みに対する成果を(何ができて何ができなかったか)文章で記載する。				
	課題と今後の方向性	※上記の実績値や成果などを踏まえ、改善に向けて取組む視点、今後の方向性、令和8年度に向けて取組む内容などを記載する。				
	令和7年度決算額			令和8年度予算額		

< 学校からの意見など >

--

< 取組み項目の現状と課題に対する総括 >

--

2. 点検及び評価に関する学識経験者からの意見

3人の学識経験者からの意見聴取内容を記載